

寄付続々

寄付された防護服のモデル
(右から2人目)を囲む関係者



医療従事者の不安や負担を軽減し、安心して働いてもらおうと坂東社長が発案。深松組に協力を呼び掛けた。受け取った笹原町長は「品薄の状況の中、非常にありがたい」と感謝した。

町に防護服200着

家印と深松組

朝日

朝日町の建築会社、家印の坂東秀昭

社長と建設会社、深松組の深松隆北陸支店長は8日、町役場を訪れ、笹原靖直町長に新型コロナウイルス感染症対策として防護服200着を寄付した。

また、今回の寄付に合わせ家印や深松組と親交がある新潟県糸魚川市の2社が同市に防護服200着を贈った。隣り合う朝日町と糸魚川市が今後、緊急性など状況に応じて、各自保管する防護服を融通し合う。坂東社長は「朝日と糸魚川は生活圏が重なっており、助け合いの輪を広げて感染拡大を防ぎたい」と話した。

礼 状

令和2年5月8日

株式会社深松組北陸支店

支店長 深 松 隆 殿

朝日町長 笹原靖直

新緑の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から町政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、深く敬意と感謝を表する次第であります。

このたび、貴社より防護服をご寄贈いただき、厚くお礼申し上げます。

ご寄贈いただきました防護服は、ご趣旨にそって有効に活用させていただく所存であります。

このたびのご厚情に対し、書中をもちましてお礼のご挨拶に替えさせていただきます。